

令和3年度 2年(国語) 年間計画および評価の概要

横浜市立緑小学校

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	じゅんばんにならぼう	1	自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。	自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き、学習課題に沿って声を掛け合おうとしている。
	ふきのとう	9	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。場面の様子や登場人物の行動など、読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	粘り強く登場人物の行動などの内容を捉え、学習課題に沿って音読を聞き合い、感想を伝え合おうとしている。
	図書館たんけん	1	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		進んで読書に親しみ、学習課題に沿って気づいたことを発表しようとしている。
	春がいっぱい	2	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことから書くことを見つけている。	積極的に言葉の働きに気づき、学習課題に沿って、経験を文章に表そうとしている。
	きょうのできごと	4	経験したことから書くことを見つけて伝えたいことを明確にすることができる。	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけて伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意している。	進んで経験から伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記に書こうとしている。
	ともだちをさがそう	4	アクセントによる語の意味の違いなどに気づくことができる。	アクセントによる語の意味の違いなどに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。	自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き、今までの学習をいかしてメモしながら聞き取ろうとしている。
5	いなばの白うさぎ【じょうほう じゅんじょ】	1	神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。	神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。		進んで神話の読み聞かせを聞き、学習課題に沿って感想を伝えようとしている。
	たんぼぼのちえ	10	順序など情報と情報との関係について理解することができる。時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	順序など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選んでいる。	粘り強く時間的な順序などを考えて内容を捉え、学習の見通しをもって、文章を読んで思ったことを書こうとしている。
	かんさつ名人になろう	10	経験したことから書くことを見つけて、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけて、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	書くために必要な事柄を積極的に集めたり確かめたりし、今までの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
	同じぶぶんをもつかん字	2	第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。		積極的に第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って漢字の同じ部分を意識して、読んだり書いたりしようとしている。
6	うれしいことば	2	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけて、伝えたいことを明確にしている。	進んで言葉の働きに気づき、学習課題に沿ってうれしい言葉に関する文章を書こうとしている。
	かん字のひろば	2	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
	スイミー	9	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って物語の紹介文を書こうとしている。
	かたかなのひろば	2	片仮名を書くとともに、文の中で使うことができる。	片仮名を書くとともに、文の中で使っている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意している。	今までの学習をいかし、進んで片仮名を使った文を書こうとしている。
	【じょうほう】メモをとるとき	3	必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。	粘り強く必要な事柄を集め、今までの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。
7	こんなもの、見つけたよ コラム 丸、点、かぎ	10	句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。文章に対する感想を伝え合うことができる。	句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「書くこと」において、文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合っている。	事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、組み立てを考えて文章にまとめようとしている。
	あったらいいな、こんなもの	8	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。
	夏がいっぱい	2	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことから書くことを見つけている。	積極的に言葉の働きに気づき、学習課題に沿って、経験を文章に表そうとしている。
	ミリーのすてきなぼうし	6	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
9	雨のうた	2	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけ、学習課題に沿って詩のよさが伝わるように音読しようとしている。
	ことばでみちあんない	3	相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えることができる。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えている。	話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って道案内をしようとしている。
	かん字のひろば②	2	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
	どうぶつ園のじゅうい	12	文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことができる。	共通、相違、時間の順序など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもっている。	進んで文章と経験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって考えたことを話そうとしている。
	ことばあそびをしよう	2	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		進んで言葉の豊かさに気づき、学習の見通しをもって言葉遊びを楽しもうとしている。
	なかまのことばとかん字	2	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに		進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って言葉を集め、仲間分けをしようとしている。
10	かん字のひろば③	2	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
	お手紙	12	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有してい	粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って音読劇に取り組もうとしている。

	主語と述語に気をつけよう	1	文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。	文の中における主語と述語との関係に気づいている。		積極的に主語と述語との関係に気づき、学習課題に沿って主語と述語に気をつけて話したり書いたりしようとして
	かん字の読み方	2	第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。		進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って漢字の異なる読み方に気をつけて読もうと
	秋がいっぱい	2	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことから書くことを見つけている。	積極的に言葉の働きに気づき、学習課題に沿って、経験を文章に表そうとしている。
11	そうだんにのって下さい	8	互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	14	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
	かたかなで書くことば	2	片仮名を書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。	片仮名を書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	積極的に片仮名で書く語の種類を知り、今までの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうとしている。
	せかい一の話	1	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで昔話の読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろいと思ったことを伝え合おうとしている。
	かん字の広場④	2	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
12	わたしはおねえさん	10	文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつている。	積極的に文章と体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って物語の感想を書こうとしている。
	お話のさくしゃになろう	10	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。
	冬がいっぱい	2	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことから書くことを見つけている。	積極的に言葉の働きに気づき、学習課題に沿って経験を文章に表そうとしている。
1	ねこのこ おとのはなびら はんたいことば	2	詩を読んで感じたことを共有することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、詩を読んで感じたことを共有している。	詩を読んで感じたことを積極的に共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
	にたいみのことば、 はんたいのいみの ことば	2	言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。	言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。		進んで言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。
	かん字の広場⑤	2	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
	おにごっこ 【じょうほう】本でのしらべ方	12	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。
	ようすをあらわす ことば	4	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、語と語や文と文の続き方について注意しながら、つながりのある文章を書いている。	進んで身近なことを表す語句の量を増して語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。
2	見たこと、かんじたこと	6	経験したことや想像したことなどから書くことを見つげることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけている。	積極的に経験したことや想像したことなどから書くことを見つげ、これまでの学習をいかして詩を書こうとしている。
	楽しかったよ、二年生	8	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや	伝え合うために必要な事柄を選んで選び、これまでの学習をいかして経験したことを紹介しようとしている。
	カンジーはかせの大はつめい	2	第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。	第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。		積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり、書いたりし、今までの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
	ことばを楽しもう	1	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		進んで言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って回文遊びを楽しもうとしている。
3	スーホの白い馬	14	文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	身近なことを表す語句の量を増している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	文章を読んで感じたことを積極的に共有し、学習の見通しをもって物語の感想を交流しようとしている。
	すてきなところをつたえよう	12	文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけながら使っている。	「書くこと」において、経験したことから書くことを見つげ、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	粘り強く文章を読み返して間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。